

miracle WOODLID



Vol 13
Issued on September 18, 2019



Worldsoft es.

目次

miracle WORLD

Vol 13
Issued on September 18, 2019

1. 社長挨拶 2
代表取締役 井上 浩則
2. 今年度の新入社員 3
3. 十勝営業所より 6
4. イベント企画室活動報告 8
 - ① 花見
 - ② ボーリング
5. ゴルフ部活動報告 9
6. マラソン部活動報告 10
24時間リレーマラソン
7. 社員旅行 12
8. 忘年会 13
9. 終わりの言葉 14
取締役 高橋 正人



社長の挨拶

代表取締役 井上 浩則

人生いつでも反省と改善

昭和で生まれて、今年が平成が終わり、令和元年がスタートします。

私の20代は昭和の後半、印象に残っているテレビドラマが2つあります。

ひとつめは『男女7人秋物語』。主演は明石家さんまで、1987年10月9日から12月18日まで、毎週金曜日21:00 - 21:54にTBS系で放送されました。

ふたつめの『東京ラブストーリー』は、1988年から小学館『ビッグコミックスピリッツ』で連載された、柴門ふみによる漫画が原作。1991年1月7日から3月18日にフジテレビ系でテレビ放映されました。

主演は、織田裕二と鈴木保奈美。

いずれも私が20～30代前半の頃、金曜夜に放映された恋愛もののドラマでした。

当時は現在のように録画して後日観る習慣はなく、そのドラマを観るためにお酒を飲みに行かず自宅に帰って、ドラマを観ていたことを覚えています。

あー、あの時は若かった！

私は既に50代後半、若い頃の恋愛物を観ることがなくなってきた今、素晴らしく感動し考えさせられたドラマがありました。それは今年の1月から放映された『3年A組 -今から皆さんは、人質です-』

菅田将暉が主演の日本テレビ系『日曜ドラマ』で、略称は「3A」。

卒業10日前に生徒たちを監禁した高校教師の、謎の行動を描く学園ミステリー・学園ドラマです。

2つの恋愛もののドラマとは違い、今の世の中、若い高校生をはじめとした、ネット社会で生きていくみんなが守らなければならないルールを教えてくれる、素晴らしいドラマでした。

迂闊に物事を判断しSNSに投稿することで、人を傷つけてしまったり精神的に追い込んでしまったり。

その中でも印象に残った言葉、『ぐっくるっば』

1回踏み止まて(ぐー)頭の中を1回回転させて考えたら(くるっ)パツて答えがわかる(ぱっ)」

深く考えずにすぐに回答を出す、あるいは考えもしないでどうしたらいいですか？と答えを聞く。

答えはたくさんあるケースや、答えがその時には出てこずに時間をかけて答えを出すこともあります。

最近、飲食店アルバイトが動画を投稿し問題となっている事件をよく目にしますが、

本人たちはその時にはこんなに大きく世の中で騒がれるとは思ってもよらず、仲間同士の遊び感覚で行っていたはず。世の中全体がメールやSNSをツールとして使用し、文章や画像・動画で表現することで、相手を誤解させたり傷つけたりすることが頻繁になってきている今、『ぐっくるっば』を頭の中に入れてメール・SNSなどを活用することが大事だと改めて考えさせられました。

また、自分の考えが普通だと思い、押し付け、強制し、人を傷つけたりしていることに気づかず、

最後にはバワハラになったりすることがこの世の中、多発しています。自分はやっていない、自分はそんなことするはずがない、と思っている方もどこかでやっているかもしれません。

先日WS社内で行われたマネージャー研修時に、講師の方がおっしゃっておりました。普段くつ下を右足から履いている人が、左足から履くように習慣付けるにはどれくらいかかるのか？

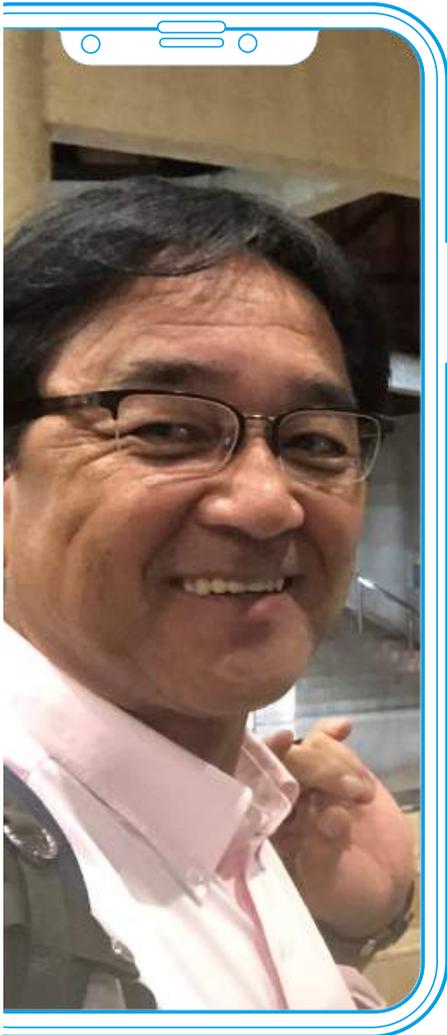
答えは約3週間。普通のことを普通にできるようにするには、訓練や意識をいつもしていなければ出来ません。

よそ行きの行動は、日頃からよそ行きを想定して行動しておかないとできません。だから、スポーツ選手は大会のために何回も何回も毎日毎日同じ練習をしているのです。仕事もそうです。いざの時のために、よそ行きの訓練を日頃からしていないと、急に靴下を左足から履くことはできないのです。

『ぐっくるっば』

日頃の行動を時々、いや頻繁に自分自身で振り返り、反省し、数多く些細なことでも改めることが必要、60歳を前にした私もそのように『ぐっくるっば』していきます。

HP : <https://www.worldsoft.co.jp/>





今年の新入社員

● システム開発3部 鈴木 将希



出身 北海道

趣味 読書（電子書籍）

自分構成グラフ



- 業務について
- ゲームの攻略法
- カードのデッキ構成
- 夕飯のメニュー
- 一日の反省点

一年を振り返って

今年、社会人としての自覚を得るための一年だったと感じております。

社会人になったと頭で理解していても、具体的にどう行動すればよいのか、自身の何を変えるべきなのかが分かりませんでした。

私自身まだ甘えがあったり、会社の皆様も新人だからと妥協してくださっている事も少なからずあると思いますので、来年からはそういった甘えは無しで貢献していきます。

来期の目標

今年には業務に関しては常に現場の方々に頼ってばかりでした。

来年は自ら対応策を考え、問題に対して「どうしますか」ではなく「こう対処します」と言って自分のことを自分で解決できるようにします。

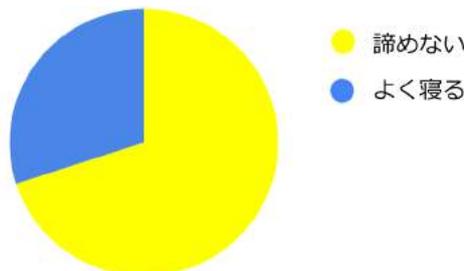
● システム開発2部 山田 陸央



出身 北海道

趣味 スイーツ巡り、漫画

自分構成グラフ



一年を振り返って

今年はたくさんの初めての年でした。

新社会人として4月にスタートし、一人暮らしを始めました。

朝、起こしてくれる親もいなければ、家に帰ってきてあたたかい晩御飯もない生活に最初はとても大変でした。しかし、じきに慣れて今では問題なく生活しています。

仕事の方はまだまだ失敗が多いですが、現場にもだいぶ慣れ、少しずつ自分のやるべきことがわかってきました。

まだまだ未熟な社会人ですが、少しずつでも成長できるように頑張ります。

来期の目標

健康でいることです。

今年は環境の変化が大きくあっても風邪をひかないように頑張っていたのですが、一回だけ体調を崩してしまいました。

食生活、睡眠どちらも大切に、来年は一回も休むことなく仕事に取り組めるように頑張ります。

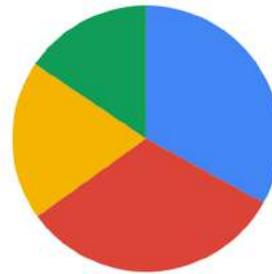
● システム開発3部 趙 珉晶



出身 韓国（大邱）

趣味 散歩

自分構成グラフ



- 安全
- 遅刻しない
- コーヒー
- ?（自分もわからない）

一年を振り返って

この一年の間、私は色々なことを学びました。

新たに学んだプログラム言語は以前に学習したことのあるものと似ていたため難しくありませんでした。しかしながら、開発作業に着手した際に起こった問題で色々なことを学びました。

一回目の開発の時は設計書確認ミスでコーディングの際コードの追加漏れがあり、後に追加作業を行わなくてはなりませんでした。

二回目の開発では、プログラム結果の値を間違えたことに気付くのが遅れ、コードの修正作業をしました。

まだ、開発の経験は少ないですが、このような経験のおかげで作業の時にはミスがないようにもっと気を付けて作業をするようになりました。

来期の目標

私の来期の目標は2つです。

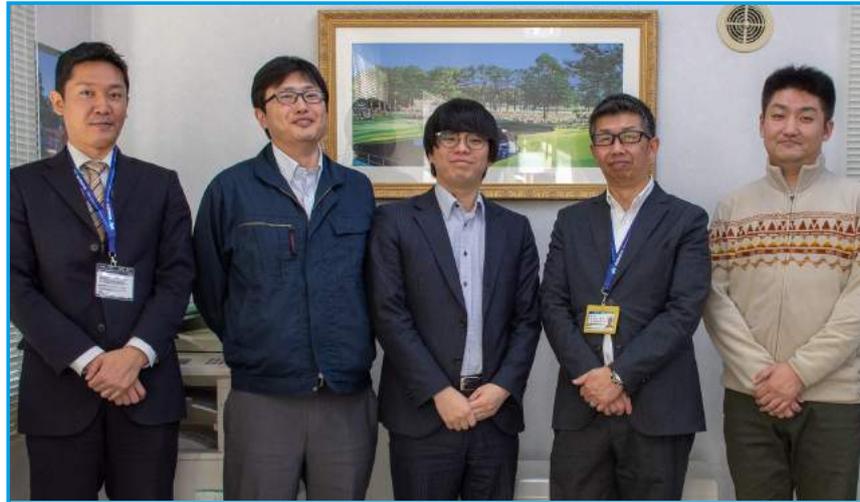
1つ目は上記にも記述したとおり、来期のはもっとミスを減らして作業を行うことです。

もう一つは健康に生活することです。入社した当初に風邪を引いてしまったり、作業の時はずっと座って作業をして、腰が痛い時がありました。来年はこれらの問題を改善するために運動をしていきたいと思っています。





十勝営業所紹介



Webアプリケーションとスマートフォンアプリ開発はお任せください。十勝営業所では主にWebアプリケーション開発とスマートフォンアプリ開発を主に業務にあたっています。BtoB用のECサイトの構築や、飲食店の持ち帰り注文アプリの開発等、様々な開発案件をこなしてきました。

新しく意識していることとして、以下のような新しい技術を採用して業務に取り組んでいます。

- ・プログラムの品質、保守性向上や可読性向上のためにPHPでの開発にはLaravelフレームワークを導入した。
- ・可能なケースでは複雑なプログラムになりがちだったインターフェース等のフロントエンドの開発をVue.jsを使い、より簡易にした。
- ・開発環境と本番環境の差をなくすことと、開発メンバー全員の環境を統一するためにも、Dockerでの環境構築を行った。
- ・プログラムのデプロイ時に「環境変数の編集漏れなどのヒューマンエラー」をなくすために継続的インテグレーションツールのJenkinsを使って自動化をした。

今年入社する新人も合わせると、メンバーは7人になり、結構人数も多くなってきたので、開発業務の上でも役割分担や相互連携の仕組みづくりを考えていこうと思っています。開発スキルはもちろんですが働くメンバーの「人」としての魅力も含めて、まずは「十勝で一番の開発会社」だといわれることを目指して邁進していきます。

● 十勝営業所メンバー近況

山口：キャンパー山口は車をデリカD5からアウトランダーPHEV（電源車）にしました。

辻本：本格的にダイエットをはじめました。

目標は-5kgです！

鈴木：目標だったスプラトゥーン2のウデマエすべてS+を達成しました。

ペットが増えました(黒猫)

白川：楽しく子育て中！アンパンマンとEテレが本当にすごいと思う日々です。

昨年末19年乗り続けたトヨタ カルディナGTが大往生し、トヨタ ヴォクシーZSに乗り換えました。

橋田：阿寒湖にワカサギ釣りに行きました。

釣果は20匹ほどでまずまずの結果でした。

● メンバー紹介

橋田 寛 (はしだ ひろし)



- **入社時期** 2018年9月入社
- **趣味** 子供とポケモンGoをしています。
スポーツはバドミントンが好きで数年前まで
社会人サークルにも参加していました。

■ 自己紹介

帯広出身で高校卒業後、北海道情報専門学校に進学し
札幌の電力子会社に就職しました。
その後帯広に戻りスーパーでパートをしながら就職活動後、地元IT企業へ就職、
12年勤務し昨年7月に退職しました。
7歳と4歳の子供がいて日々の相手に苦労しています。

■ 2019年の目標

まずはプロジェクトの立ち上げから開発完了までスムーズに行えるよう頑張ります。
また前職では色々な業種のシステムを開発していたので、
それらの知識を生かしていきたいと思っています。

■ 社員へ一言

まだお会いしたことのない方も多いので、お会いできる日を楽しみにしています。





イベント企画室活動報告

イベント企画室 室長 田村 嘉信



● 花見

弊社では毎年数々のイベントを開催しております。

今回はその中の1つ恒例イベントである花見についてお話します。

本年は温暖気候に伴い開花予定が2週間も早まったため、お店での開催は避け、『洗足池公園』で開催致しました。飲食物の予約をし、当日を迎えました。天気の心配も余所に日差しが照りつけるような暑さでした。

綺麗なピンク色に咲き誇った桜の木の下で、座席の確保も済み花見開始です。

参加者はWS社員17名に加え、社員のご家族やお友人にもご参加頂きました。

周囲は足の踏み場もないくらい大変な賑わいを見せ、それに負けじと普段現場の違う社員同士の交流やお子さんとの交流で賑わいを見せていました。

時折風が吹くたびに桜の花びらが舞いとても綺麗でした。社外の参加者や花見の話を聞いた人達からは「風通しの良さそうで仲良くいいな」や、「花見を生まれて初めてしました。良いですね」などの声が寄せられました。

この様に、弊社では花見以外にも社員間の交流目的にイベントを開催しています。

他にどんなイベントがあるのか興味ありましたらお気軽にお問い合わせください。

● ボーリング

今年の新人はなかなか前向きでこころ強い意見をいただきました。

「がやはりマラソン部入部者はおりません…。
“チーン！”

年に一度の夏のイベントとして考えてもらえればきっと参加者も増えることでしょう。

順位をみても走り続けることに意義があり、スピードや順位を争ってはいないので楽しく気軽に参加できると思います。

最後に、応援に来てくださった柄沢部長、暑い中ありがとうございました。

まだ参加されていない皆さん是非来年参加してみたいかがでしょうか？

ちなみに来年、役員は強制参加ですね。



ゴルフ部活動報告

ゴルフ部 部長 高橋 正人

今期も予定通り活動できました。また、ゴルフ部員も3名増加し盛り上がってきました。

一方でコンペ運営の質、各人のゴルフスコアがまだまだ不足していますので、今後の課題として認識し、より良い結果が出せるよう向上に努めてまいります。



● 第18回ワールドカップ

開催日 : 2018年6月17日
形式 : オープンコンペ (社外のお客様含め20名5組)
開催場所 : ラ・ヴィスタゴルフリゾート
天気 : 梅雨時期なのに晴天
優勝者 : WS大槻部長 (102)
ベスグロ : WS井上社長 (86)
主幹事 : WS田村MGR (99)

● 第19回ワールドカップ

開催日 : 2018年11月4日
形式 : 社内コンペ (11名3組)
開催場所 : 伊豆大仁カントリー
天気 : 曇&雨&濃霧
優勝者 : WS津金MGR (109)
ベスグロ : WS井上社長 (90)
主幹事 : WS高橋部長 (100)

● 第20回ワールドカップ

開催日 : 2019年1月13日
形式 : オープンコンペ (社外のお客様含め20名5組)
開催場所 : 千葉新日本ゴルフ倶楽部
天気 : 雪予報からの晴天ながら、寒し
優勝者 : JFE-SI藤岡様 (100)
ベスグロ : WS井上社長 (83)
主幹事 : WS津金MGR (110)





マラソン部活動報告

マラソン部 部長 大槻 紀雅



● 宮ヶ瀬湖24時間リレーマラソン



今年もやってきました！
WSマラソン部夏の恒例イベント「宮ヶ瀬湖24時間リレーマラソン」。
ここ数年は大雨に見舞われ嫌な雰囲気が出ていました（その為、今年は50チーム程度参加チームが減少していました。）が今年は何と！？とても天気が良く快晴でした。

ご存知の通り、今年の夏は非常に暑く、各地で35℃を超える暑さを記録する異常気象でしたが神奈川県山奥にある宮ヶ瀬湖では快適に過ごすことができマラソン日和となりました。

参加メンバーは、総監督（ブラッドチョット）、部長をはじめ大会経験者が多く集まりました。

WSメンバーは16名の参加で他社から14名参加の計30名、

2チームと例年通りの構成で挑みました。

チーム名は「ワールドソフトes」、「ワールドソフトEX（エクストラ）」の2チームとなります。

今年も新入社員は全員参加で、ある意味課外授業を見事みんなクリアしました。

参加メンバーの中にはこの日のためにジムに通い調整をしたメンバーもいました。素晴らしいです。

各自ランニングの番になれば一生懸命走り、休憩のときは屋台で食事や周辺の観光場所を見たり、ゲームをみんなでやったりなど満喫できたのではないかと思います。

またある人達は日中、早々にパウードリンク（麦ドリンク）を飲んでいました。

深夜のランニングになると日々の生活では感じる事ができない虫の鳴き声や自然を感じる音などどこか懐かしい子供の頃を思い出すような不思議な体験ができます。

また、キツイのは寝てるときに起こされて走ること。体も頭も覚めないのではなかなかしんどいです。

本大会で一番大切なことは団結力！！

チームワークが必須なリレーマラソンです。自分だけが楽しむことはできないし、自分のミスが全体に影響を与えてしまう。個々の責任感を養えることでしょう。

また、大勢の人たちと共同作業を行うことや一日を過ごすということで協調性など日々の業務では体験できない達成感や成長を感じられるのではないのでしょうか。

打ち上げにはスーパー銭湯へ行き待望のお風呂で気分も体もスッキリしてそのまま宴会です。車の運転手には申し訳ない気持ちで一杯ですがたくさん飲みます。

初参加者の感想や次回の意気込みなど毎年、珍回答が出るので楽しみです。

今年の新人はなかなか前向きでこころ強い意見をいただきました。

がやはりマラソン部入部者はおりません…。
“チーン！”

年に一度の夏のイベントとして考えてもらえればきっと参加者も増えることでしょう。

順位をみても走り続けることに意義があり、スピードや順位を争ってはいないので楽しく気軽に参加できると思います。

最後に、応援に来てくださった柄沢部長、暑い中ありがとうございました。

まだ参加されていない皆さん是非来年参加してみたいかがでしょうか？

ちなみに来年、役員は強制参加ですね。



田村 嘉信

すっかり夏のイベントとなった宮ヶ瀬湖リレーマラソン。
今年には天候にも恵まれ、多少の温暖差はあったものの気持ちよく走れました。中盤から膝の痛みはありましたが気持ちを強く持ち皆でゴールを迎えることが出来ました。
チーム戦はやっぱり楽しいし、感動も共有できるので良いですね！
マラソン初心者の方も是非一度参加してみませんか？



松井 由美

2年間大雨の大会でしたが、今年はいいいお天気に恵まれました。
でも、夜は気温差がすごく、震えるくらいの寒さでした。
24時間リレーマラソンは過酷のように感じますが、参加者のみんなと和気藹々でき、楽しくもあります。
こっそり飲むビールも最高 笑笑
ゴールはいつも感動です。



千葉 紀洋

年に一度の大イベント、宮ヶ瀬24hリレーマラソン、今年も参加して参りました。
2チーム計30名でesチーム、EXチームそれぞれ力を合わせ全力で走り完走する事が出来ました。
途中リタイヤを考える事もありますが、やはり最後のフィナーレ、全員でゴールをする一体感！
何度味わっても感動します！マラソン部以外の方にも是非この感動を味わっていただきたい。
これからもお誘いし続けますので共に走る事の喜びを味わいましょう。



社員旅行

GUAM 2019.03.08 ~ 2019.03.10





忘年会

2018年12月21日（金）自由が丘にて忘年会を行いました。

社長から社員への言葉、社員が今年の反省と来年の決意を発表し、更なる躍進を目指して英気を養いました。

そして、イベント企画室主催のwsクイズ大会が開催され、ワールドソフト・イーエスの歴史の中から様々なエピソードを元にクイズを出題し、社長及び社員の方々は当時の思い出話に花を咲かせました。

年末年始の忙しい時期の中、多くの社員の皆さんが参加し、普段以上に話す機会が出来たことで大変有意義な忘年会となりました。





終わりの言葉

取締役 高橋 正人

● 未来予想図AI

今年度より、RPA(Robotic Process Automation)なるものに携わる事になりました。

RPAはホワイトカラーのデスクワーク（主に定型作業）を、パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念です。エクセルマクロはエクセル内限定での処理になりますが、RPAはエクセル操作に加えWebシステムへのデータ転記・登録やメールの自動送信等、いままで人間が行っていた作業をロボットが代行してくれる、と言えば分かり易いかと思います。

その分かりやすさや、即効性から近年ブームとなり導入する企業が急増していますが、良い側面だけを見て手を出すのは危険であることを認識しなければなりません。現在の技術ではAIまではたどり着いていない為、事細かにプログラミングする必要があります。

この場合はAをやりなさい。この場合はBとCをやりなさい。

といった具合で旧来のプログラミングとなんら変わりはありません。

途中で処理が中断した場合のリカバリーの考慮や、エラー処理などあらゆる場面を想定し設計構築することも重要です。なぜか？と問われたら、機械だからです。考える事はしません。言われたことしかできないからです。

ロボットはよく新人社員に例えられます。経験がない新人社員は、教わっていない場面にでくわすと迷います。当然です。ロボットも同様に予め指定された条件にそぐわない場合、停止します。（新人社員はその場合、先輩に聞く点はロボと違いますが）「普通は分かるでしょ」「それはここと同じでしょ」と言われ「そうですね、先に進めます」いった忖度はロボには一切ありません。例えば「S」と「S」は何が違うのか？

等の問い合わせを受ける場面があります。人間には同じに見えてもロボットは全角半角を異なる文字として認識します。よって我々SEは人間と機械の通訳として存在しているわけです。

近い将来AIが発展すれば、今まで行ってきた実務作業をコンピュータのログから解析し、最も適した結果を出力するようなロボができるかもしれません。取引先Aは〇〇なので少し多めに発注しておこう。商品Aはゆっくり価格が下がるだろうから今は少なめに発注しておこう。などのように人間が感覚で行っていたものまでも取り込んだロボができることも夢ではありません。さらにその先には、プログラムを作成してくれるロボができるかもしれません。そうすると人間の役割はどこにあるのでしょうか。

人間は何年後にコンピューターに支配されるだろうと警鐘を鳴らす科学者もいます。人間が便利になる為に発展してきたコンピューターが今度は人間を支配する為に存在するものとなったら悲しい限りです。いくらAIが発展したとしても人間にしかできないことは何なのか、AIと人間が共存するには、少し考えていく必要があるかもしれません。

個人的にはターミネーターよりもドラえもんがいいですね。



社報「miracle World Vol.13」制作スタッフ

ディレクター	:	朴 東顯
データコレクション担当	:	濱田 祐哉
	:	方 珉皓
デザイン / 構成 / 監修	:	朴 東顯
	:	井上 甲一
	:	猿川 真実子
	:	濱田 祐哉
	:	方 珉皓
	:	趙 珉晶
総監修	:	津金 利久

発行日 2019年9月18日
発行元 (株)ワールドソフト・イーエス
発行所 (株)ワールドソフト・イーエス

URL : <https://www.worldsoft.co.jp>
MAIL : ws-newsletter@worldsoft.co.jp

